

「核兵器のない世界」にむけて行動しよう

8月の広島に向けて国民平和大行進スタート

核兵器全面禁止の協議の開始を

5月3日、世界中の国々がニューヨークの国連本部に集まって、核兵器問題の会議（NPT再検討会議）を開きました。会議で問われるのは、10年前に核保有5カ国政府が受け入れた核兵器廃絶の約束の実行です。

これに先立つ4月8日、米ロ両国は新たな戦略核削減条約に調印しました。交渉の開始にあたって両国首脳は、新条約が「核兵器のない世界」を促進するものだと言いました。その目標に照らせば、削減幅はけっして多くありません。条約が完全に実行されても2020年の時点で両国はなお3100発と、人類を絶滅させるほどの戦略核を持ち続けることになりました。

いま世界の人びとが望んでいるのは、核兵器全面禁止の協議を開始することです。そのためのリーダーシップを米ロ両国に求めましょう。

非核三原則の実行を

鳩山首相は昨年9月の国連安全保障理事会首脳会合で、「核兵器廃絶の先頭に立つ」「非核三原則を堅持する」と約束しました。今年になって歴代の日本政府が国民に隠れて密約を結び、アメリカの核兵器が持ち込まれていたことも明るみに出ました。ところが鳩山政権は、日米同盟が大事だからと、密約の破棄を拒否しています。アメリカの判断しだいで、核兵器を積んだ潜水艦や軍艦が寄港する仕組みはいまも続いています。

被爆国としての役割を果たさせるために、「核兵器を持たず、つくらず、持ち込ませず」の非核三原則をきちんと実行するよう政府に要求しましょう。

世界の運動と連帯しよう

NPT再検討会議が開かれるニューヨークに世界中から大勢の人びとが集まり、「核兵器のない世界のための国際行動デー」（5月2日）の大デモンストレーションがとりくまれました。日本からは、広島・長崎両市長や被爆者とともに、日本原水協の代表1500人が参加し、みなさんから寄せられた「核兵器のない世界を」国際署名を会議議長に提出しました。

5月6日からは、国民平和大行進がスタートします。平和行進は、毎日、国民の非核の願いを世界に発信し続けます。一歩でも二歩でも、核兵器のない世界のために歩きましょう。



原水爆禁止日本協議会

〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-4
TEL.03-5842-6031 FAX.03-5842-6033
<http://www.antiatom.org/>